

# 九州経済圏貿易統計のポイントについて (令和8年2月分：速報)

## <対世界>

- 輸出総額:1兆536億円(伸率:+0.2%) ⇒ 4か月連続のプラス
  - ・順位:17位、2月としては1位
  - 【順位は、昭和54(1979)年1月以降(566か月、2月は48か月)による。以下同じ。】
  - ・増加品目:自動車(同+12.3%)、船舶(同+29.0%)
- 輸入総額:8,270億円(伸率:+5.9%) ⇒ 6か月ぶりのプラス
  - ・順位:45位、2月としては3位
  - ・増加品目:航空機類(同156.9倍)、金属鋳及びびくず(同+13.9%)
- 差引額:2,266億円(伸率:▲16.4%) ⇒ 13か月連続の輸出超過
  - ・順位:22位、2月としては2位
  - 為替レート:2026年2月:155.65円/ドル(2025年2月:154.61円/ドルと比べ0.7%の円安)

## <品目別動向>

### ○輸出

自動車(2,839億円→3,189億円、伸率:+12.3%)は、中東(280億円→556億円、同+98.5%)及び中国(551億円→683億円、同+24.0%)向けが増加し、11か月ぶりのプラスとなった。

また、船舶(446億円→576億円、同+29.0%)は、マーシャル(113億円→180億円、同+59.7%)及びシンガポール(実績なし→63億円)向けが増加し、2か月連続のプラスとなった。

一方、半導体等製造装置(1,038億円→817億円、同▲21.3%)は、韓国(524億円→405億円、同▲22.8%)及び中国(379億円→260億円、同▲31.4%)向けが減少し、2か月ぶりのマイナスとなった。

### ○輸入

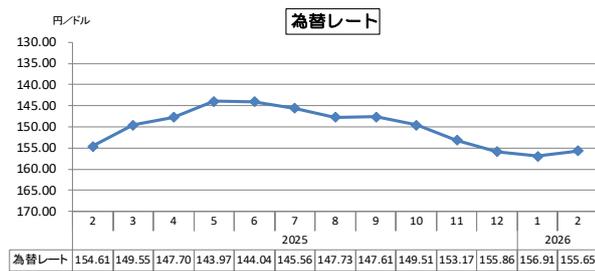
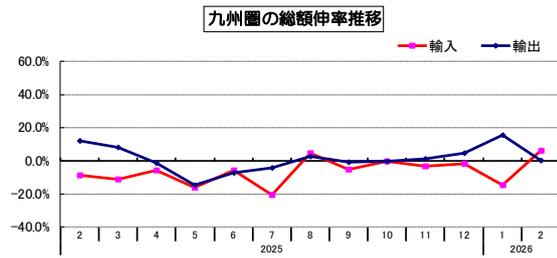
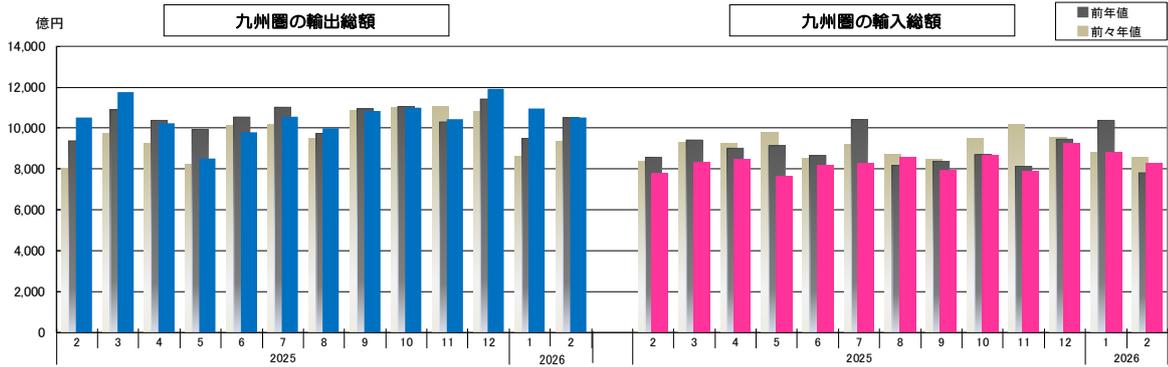
航空機類(4億円→561億円、伸率:156.9倍)は、アメリカ(2千万円→561億円、同3382.4倍)からが増加し、2か月ぶりのプラスとなった。

また、金属鋳及びびくず(803億円→914億円、同+13.9%)は、銅鋳(383億円→472億円、同+23.2%)が増加し、2か月連続のプラスとなった。

一方、半導体等電子部品(637億円→442億円、同▲30.7%)は、台湾(524億円→315億円、同▲39.8%)及びEU(49億円→31億円、同▲36.5%)からが減少し、4か月ぶりのマイナスとなった。

※ 伸率及び増加・減少は、すべて対前年同月比

# 令和8年2月分：速報



## 九州圏の輸出主要品目推移



## 九州圏の輸入主要品目推移



※この内容を引用されるときは、「門司税関発表による」と付記してください。